

平成29年9月4日
函館開発建設部

報道機関各位

地域ぐるみで取り組む 後志利別川流域タイムライン検討会を発足します

せたな町、今金町、北海道、国等からなる「後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、後志利別川流域での大規模水害に備えるタイムライン（事前防災行動計画）を策定することを目的とした「後志利別川流域タイムライン検討会」を発足します。

後志利別川流域タイムライン検討会は、せたな町、今金町、北海道、国等の関係機関と地域の町内会で構成し、流域住民の円滑で確実な避難や浸水被害の軽減に向け、上下流に隣接する自治体や河川管理者などの関係機関がとるべき行動をあらかじめ定めるタイムラインを策定することで、流域全体での防災力向上や先を見越した早期の災害対応を実現することを目指します。

本格的な水害タイムラインの作成は、道南地区では初めての取組です。

記

- 1 開催日時 平成29年9月13日（水） 14:00～17:00
- 2 開催場所 せたな町民ふれあいプラザ（1階大ホール）
久遠郡せたな町北檜山区徳島8-1
- 3 式次第 別紙1のとおり
- 4 設立概要 別紙2のとおり
- 5 その他
 - ・災害など不測の事態が発生した場合は、中止することがあります。
 - ・会議での配布資料は、後日、函館開発建設部のホームページに掲載します。
 - ・これまで開催した「後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会」の会議資料等は、以下のURLから御覧いただけます。
<http://www.hkd.mlit.go.jp/hk/koumu/eqp9bq0000008mt.html>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

工務課 流域計画官 ^{みさかわ}三佐川 剛昌（電話番号 0138-42-7604）

今金河川事務所 所長 ^{あきやま}秋山 泰祐（電話番号 0137-82-0041）

函館開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



「後志利別川流域タイムライン検討会」発足式 次第（予定）

（第4回後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会）

日時：平成29年9月13日（水）

14：00～17：00

場所：せたな町民ふれあいプラザ
1階大ホール

【第1部 流域タイムライン検討会発足式】14:00～15:50

- 1 開会挨拶 函館開発建設部長
- 2 設立趣旨と今後の進め方 函館開発建設部 今金河川事務所長
- 3 講演「近年の水害とその教訓、水害タイムラインとは？」
東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター客員教授 松尾 一郎
（後志利別川流域タイムライン検討会 アドバイザー）
- 4 タイムラインに対する期待 函館地方気象台長
せたな町長
今金町長
- 5 閉会

～ 休 憩 ～

【第2部 流域タイムライン勉強会】16:00～17:00

- 1 檜山地方の気象特性と新たな気象情報について 函館地方気象台 水害対策気象官
- 2 川の防災情報と昨年の水害について 函館開発建設部 今金河川事務所長
- 3 せたな町での水害対応について せたな町 総務課長
- 4 今金町での水害対応について 今金町 まちづくり推進課長
- 5 質疑応答
- 6 閉会

「後志利別川流域タイムライン検討会」設立概要

1. 設立趣旨

平成 27 年に鬼怒川堤防の決壊や平成 28 年の空知川堤防の決壊など、計画規模を超える大規模な洪水が発生しており、後志利別川においても広域で浸水被害が発生することを想定しておく必要があります。

このため、流域住民の円滑で確実な避難や浸水被害の低減に向けては、上下流で隣接する自治体間や河川管理者などの関係機関の連携・調整が重要となります。

この程、後志利別川の減災対策協議会の枠組みを用いて、流域全体での防災力の向上を図るため、先を見越した早期の災害対応を実現する「後志利別川流域タイムライン検討会」を設置することとしました。

2. 参加機関（44 機関）

函館開発建設部、函館地方气象台、檜山振興局、渡島総合振興局函館建設管理部、せたな町、今金町、せたな警察署、せたな消防署、今金消防署、せたな町町内会（新町、元町、緑町、本町、中央町、寿町、長淵、愛知、豊岡、兜野、徳島、丹羽、南川）、今金町町内会（曙町、高美町、日ノ出町、東町、昭和町、旭町、大和町、末広町、緑町、南町、南栄町、商工団地、寒昇、今金連合、美利河連合、花石連合、種川連合、八束連合、豊田連合、神丘連合、金原連合、田代地区連合）

【アドバイザー】

東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 客員教授 松尾 一郎

【事務局】

函館開発建設部、函館地方气象台、せたな町、今金町

3. 効果

- ・ 水防体制の見直し・改善
- ・ 関係機関の「顔が見える関係」の構築、連携の円滑化
- ・ 早め早めの防災行動の確立
- ・ 防災行動の「漏れ・抜け・落ち」の解消
- ・ 住民の早期避難
- ・ 上下流の自治体・防災機関・町内会が一丸となった災害対応の実施

4. その他

検討会は公開で開催し、検討結果は HP 等にて情報発信を行います。